## 〈第1段階〉 建設候補エリアの抽出

児童・生徒の安全安心の確保、また、地域の防災拠点となり得る場所等の観点から、4エリアを抽出し候補地選定のための土地の安全性(津波の浸水深さ、地盤の状況等)などについて検討を行なう。

検討エリア	検討内容	考えられる候補地と課題等	
		候補地	課題等
① フリー下野 工業団地前 バス停付近	・大湊町側に偏る。 ・津波浸水予測で2~4mの浸水深さ。 ・周辺に幹線道路がある。 ・農用地区域がある。	・幹線道路沿い ・農地(農用地)	・両校の校区の境を跨ぐ位置になるが、全体から見ると大湊町側に偏る。 ・大湊川に近接するため、津波の川からの溢水が懸念される。
② 下野工業団地 入口付近	・学区のほぼ中心にある。 ・津波浸水予測で2~4mの浸水深さ。 ・周辺に幹線道路がある。 ・農用地区域がある。	・幹線道路沿い ・農地(農用地)	・まとった農地は限られてい る。
3 フリー馬瀬口 バス停付近	・校区の西側に寄る。 ・津波浸水予測で2~3mの浸水深さ。 ・周辺に幹線道路が無い。 ・農用地区域がある。	・幹線道路沿い ・農地(農用地)	・校区全体から見ると、御薗町と接する西側に寄る。 ・交通量の多い県道を跨ぐため、通学環境の整備(徒歩通学の安全確保、遠距離通学等)が課題となる。
<b>④</b> プロマーケット付近	・小木町側に偏る。 ・津波浸水予測で2~3mの浸水深さ ・周辺に幹線道路がある。 ・通学環境	・幹線道路沿い ・農地	・国道23号より南側に統合校を設置した場合、有緝小、浜郷小と近接する。 ・校区内の大半の児童がスクールバス通学となるため、その整備が最重要課題となる。